

法人委員の方は、人数に制限なく出席できます。
個人委員・特別委員の方は、本人または代理の方（1名）が出席できます。
フェロー委員の方は本人のみが出席できます。

【会告】「2012年11月(金)開催 研究例会」

生産自動化専門委員会委員長 大隅 久

近年、モノを動作させるのに駆動源が小型化した恩恵で、構造を単純化した1駆動源=1 axisの直接駆動が主流になる傾向があると感じております。確かに設計がシンプルになり多くの享受があるのも事実ですが、古来からの『からくり』の良さも再考し設計に生かせたらと考えました。

そこで、11月の研究例会では「温故知新でからくり技術に学ぶ」をテーマに、古くは江戸時代のからくり人形から始まり、現在の工業界での適用事例、そしてからくり技術の未来へ、と題しまして、ユニークな工夫のご紹介3件の講演を企画しました。

ご講演者には実演も交えた内容などもお願いしておりますので、ご参加いただく皆様には楽しみながら記憶に留めていただける機会になるものと思います。

多くの皆様のご参加を期待します。

11月研究例会は関根淳一氏（ソニー㈱）のご尽力で企画されました。

1. 日時：2012年11月30日(金) 13:00～16:45

2. 主題：「温故知新でからくり技術に学ぶ」

3. スケジュール：

(1) 13:00～14:30 講演【1】

〔講演題目〕 からくり人形に学ぶものづくり

〔講師〕 末松 良一 氏（愛知工業大学 総合技術研究所 客員教授）

高科 庄次 氏（尾陽木偶師 [びようでぐし] 九代 玉屋庄兵衛）

〔講演概要〕 日本人のロボット観を育てて来た「からくり人形」の発展経過を概説するとともに、機構の原点ともいえる代表的なからくり人形である茶運び人形、弓曳き童子の実演解説を行う。また、「からくり改善」についても触れる。

HP <http://www.wb.commufa.jp/karafro/karafro.html>（からくりフロンティア）
<http://karakuri-tamaya.jp/>（九代玉屋庄兵衛後援会）

—————休憩—————

(2) 14:45～15:45 講演【2】

〔講演題目〕 モノづくりの原点はからくりにあります

～日本古来の伝統技能の伝承と発展～

〔講師〕 池田 重晴 氏（アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 生産技術本部

工機部 ものづくりセンター・チーフアドバイザー）

〔講演概要〕 日本古来の伝統技術であるからくり機構を、生産用器械に応用したものの創りの考え方、応用展開事例を軸に、人材育成までを紹介する。

HP <http://www.aisin-aw.co.jp/>

(3) 15:45～16:45 講演【3】

[講演題目] からくり人形的ロボット技術開発と未来社会への応用展開

[講師] 古田 貴之 氏 (千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 所長)

[講演概要] ロボット技術の応用で重要な事、それは技術を生活・文化とつなぎ新たな価値を生み出すことである。本講演では、ロボティクスをからくり技術になぞらえ、社会への応用展開を、事例を交えて考察する。

HP <http://scienceportal.jp/reports/robot/>
<http://www.furo.org>

4. 場所：中央大学 理工学部 6号館 4階 (6429号室)

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

(大隅研究室連絡先) Tel: 03-3817-1824, Fax: 03-3817-1820

【交通】東京メトロ・丸の内線，南北線「後楽園」駅下車徒歩3分，

都営地下鉄・大江戸線，三田線「春日」下車徒歩5分，

JR中央線「水道橋」駅下車徒歩15分

【6号館の位置】 ◆◆ [右下図参照] ◆◆

5. 出席連絡先：

2012年11月23日(金)までに添付ファイル「出席連絡票」に所定事項をご記入の上、事務局補佐 岩佐までE-mailまたはFAXでご連絡をお願いいたします。

Tel/FAX：0797-52-1892

携帯：090-5037-3051

E-mail：seisanji@dk2.so-net.ne.jp

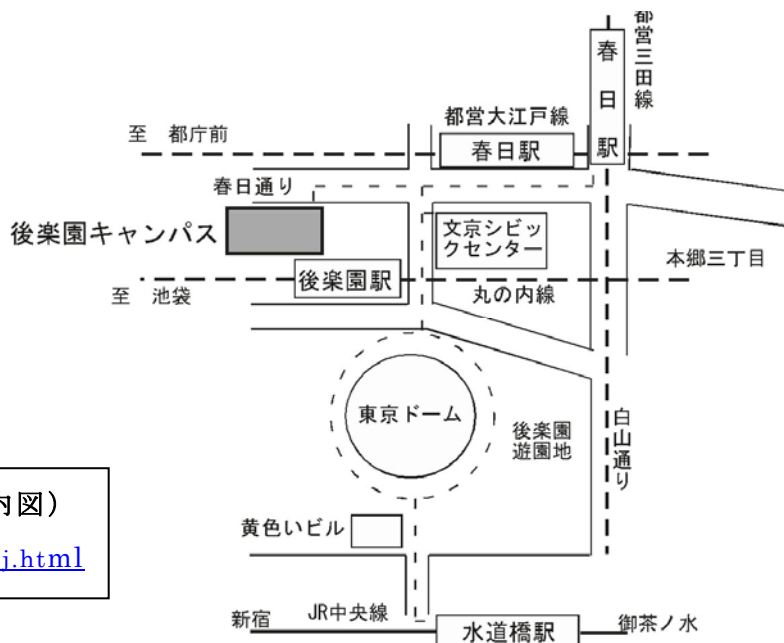
6. 11月研究例会問合せ先：

関根 淳一 (ソニー株式会社)

E-mail：Jun.Suzuki@jp.sony.com

Tel：03-5448-2456

会場は
中央大学 6号館 4階 6429号室



(右図：中央大学 後楽園キャンパスと6号館の案内図)

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.html